



吉野作造記念館だより

〈編集・発行〉特定非営利活動法人 古川学人

目次

記念館開館20周年記念式典	1
平成27年度の行事案内	2
館長・理事長就任の挨拶	3
古川中学校教材・当館実習の紹介	4
昨年度企画展・各種事業の紹介	5
見学会・出前講座の感想	9
NPO法人古川学人事業報告	12
アンケート	18
昨年度行事一覧・寄贈資料一覧	19
天津日中交流シンポジウム	20



市民と共に

～開館から20年～

吉野作造記念館開館20周年記念式典

平成27年1月29日(木) 会場：大崎生涯学習センター（パレットおおさき）

主催 大崎市・大崎市教育委員会 企画 特定非営利活動法人 古川学人

吉野作造記念館は、平成二十七年一月二十九日をもって開館から九二十年を迎えました。この大きな節目の日に合わせ、市内のパレットおおさきにて二十年記念式典が執り行われました。当日は大崎市内外から延べ二五〇名あまりの方々にご列席頂き、また御厨貴・東京大学名誉教授、飯田泰三・島根県立大学副学長をはじめ、これまで当館の各事業に多大なご支援を頂いた方々にもご列席頂きました。

式典の中では、吉野先生を記念する会（高橋憲夫会長）、大崎市立古川中学校（星豪校長）、同校三年の福田安優さんへの感謝状贈呈式が行われました。授賞理由は、吉野先生を記念する会は記念館開館の原動力となった長年の吉野作造顕彰活動に対するもので、古川中学校は同校での吉野作造を題材とした「志教育」の取り組みに対するものです。福田さんは、授業の中で考案したキャラクター「ライ造くん」を、当館の正式なマスコットとして採用させて頂いたことに対するものです。

メインイベントとして、三谷太一郎・東京大学名誉教授による講演会が行われました。三谷氏は、吉野作造研究の第一人者であり、二十年前の記念館開館記念式典においても、基調講演を賜りました。

今回は「晩年の吉野作造―国内および国際情勢の変化への対応―」というテーマで、吉野の後半生の発言と取り組みから、改めてその現代的な意義を評価するものでした。

また式典の後半は、吉野の生涯を音楽と共に辿る記念コンサートが行われました。吉野とその時代を捉えた多くの写真に合わせ、この日のために結成された市民有志による混声合唱団「デモクラッツ」が、明治・大正の歌を披露しました。

二十周年に先立ち、当館では平成二十六年八月十日より企画展「吉野作造記念館二十周年の歩み」を開催。また、年が明けて平成二十七年一月四日から三十一日までの一ヶ月間、全館観覧無料のキャンペーンを行いました。

平成27年度の 行事案内

5月5日 GWイベント

子供の日は
家族みんなで
記念館に行ってみよう!!



9月4～6日 第9回 人材育成研修会

若手研究者・学生の人材
育成と吉野博士を通じた
人的ネットワーク構築を
目的とした合宿研修会



6月7日～8月2日 前期企画展

「戦後70周年記念 日本国憲法の誕生と吉野作造」

「第4回 吉野作造研究賞」

贈賞式および記念講演（秋季予定）

春期吉野作造記念館講座（6月14日・28日）

講師 佐藤 憲一 先生(元仙台市博物館館長)
歴史講座「自由民権運動と宮城」

10～12月頃 後期企画展（開催日時未定）

「戦後70周年記念 井上ひさしと戦後日本の平和(仮)」

8月 夏休み自由研究サポートし隊!

小学校5・6年生を対象とし、テーマを決め調べて
もらい完成するまで職員がサポートします!

秋期吉野作造記念館講座（開催日時未定）

講師 大川 真 (当館館長)
「吉野作造講座（タイトル未定）」

11月 わっくわく教室

(芸術文化振興事業)
さまざまな工作やアートに
チャレンジする教室です!
(幼稚園～小学校対象)



12月中旬頃 クリスマス会

キリスト教徒の
吉野博士にちなんだ
楽しいクリスマス会!!



10～12月頃 第16回読売・吉野作造賞

受賞者講演会

1月29日 生誕記念イベント

吉野博士生誕138年&開館21年記念
入館無料キャンペーン!

※写真は前年事業の様子です。

各種募集について(通年募集)

団体見学のご予約

出前講座・公開講座・学会発表なども受付中!!

お客様の	ご希望に 合わせた	プランを ご提案します!!
個人、団体、 学校、企業 観光、研究、 等	知りたいテーマ、 出身地域 観覧所要時間、 など	お客様にぴったりの プランのご提案 と解説をさせてい ただきます。



友の会 会員募集中

当館の活動を応援する「友の会」を結成し、現在個人会
員を募集しております。以前から当館の財政面を含めて
支援したいという趣旨の要望があり、その声に答えるた
めに全国組織の「友の会」を結成するものです。この
会員は、当館のさらなる発展に寄与することを目的とし
ています。入会希望の方は、当館までお申込み下さい。

特典 / 種類	会費3000円/年	会費5000円/年
1 入館料無料で観覧できます。	○	○
2 広報物のご案内を発送 します。	○	○
3 講演会や講座など無料 で参加できます。	○	○
4 販売品を割引料金にて購 入できます。(20%引き)		○
5 『吉野作造研究』を送付 します。		○

館長・理事長就任の挨拶

平成26年5月25日をもって、吉野作造記念館指定管理者であるNPO法人古川学人は、前理事長兼館長の佐々木源一郎が退任し、新たな体制となりました。大川新館長ならびに佐藤古川学人新理事長よりご挨拶させていただきます。

吉野作造記念館

館長 大川 真



平成二十六年五月より、吉野作造記念館（以下、当館）館長に就任致しました大川真です。

当館は平成七年、旧古川市によって設立されました。しかし当館設立の原点は、昭和三十七年に結成された「吉野先生を記念する会」に遡ります。結成の際の趣意書には「ここに市民の総意を結集し、博士を記念する事業をおこそうとする次第であります（後略）」とあり、旧古川市民総意の顕彰会として発足したことがうかがえます。

私が当館に奉職したのは、東日本大震災から間もない平成二十三年六月のことでした。震災は、人と人の繋がり、市民の力の大きさが見直される契機となりました。そうした時代的要請の中で、当館を「シテイズンシップ普及の拠点」として発展させていくことが、着任以来私が一貫して掲げてきた目標でした。近年は展示・教育普及事業の一層の充実に加え、様々な現代的課題に向き合うべく、南三陸町や石巻市などでの被災地支援事業、日中文化交流を中心とした東アジア交流事業等も実施してきました。

当館は開館以来、十二万人以上の方にご来館頂き、平成二十七年一月二十九日には開館二十周年を迎えることとなりました。ご支援・ご愛顧頂きました皆様から御礼申し上げます。二十年の間には9・11テロ事件や東日本大震災など、内外で様々な大きな出来事がありました。私たちは安心やゆとりを実感しにくい日々を依然として過ごしております。吉野作造が提唱したデモクラシーの原点に立ち返る場所・空間として当館はあり続けたいと思います。

吉野作造記念館指定管理者
特定非営利活動法人古川学人

理事長 佐藤 俊明



この度、NPO法人古川学人理事長に就任いたしました佐藤俊明です。

平成十四年に旧古川市の民間委託事業として、平成十八年からは大崎市の指定管理者として、足かけ十三年、私達NPO法人古川学人は、吉野作造記念館の管理運営を担って参りました。

記念館指定管理者としての古川学人の使命は、郷土の偉大な先達・吉野作造の顕彰を通じて市民の皆様、特に将来を担う若い人達に対し、確かな教養と思索の場を提供することだと考えております。そのために当法人ではこれまで、研究調査及び展示・教育という記念館としての基幹事業にとどまらず、人的交流を念頭に幅広い事業に取り組んで参りました。記念館は、今や大崎市から全国に広がる「吉野ネットワーク」によって支えられています。

民主主義国としての日本の指針を示した吉野作造の業績を未来に伝えんとする、長い顕彰活動の集大成が吉野作造記念館です。記念館の二十年は単なる吉野作造の顕彰史ではありません。吉野作造を通じて現代の民主主義を守り発展させていくという、私たち一人一人の決意と実践の歴史なのです。

開館二十周年という節目にあたり、地元大崎市民の皆様、各種事業にご支援を頂いた皆様、そしてこれまでご来館下さいました皆様に深く感謝申し上げます。今後も志を一つにして記念館の運営を充実させて参りますので、ご支援・ご協力の程を心よりお願い申し上げます。

吉野作造記念館

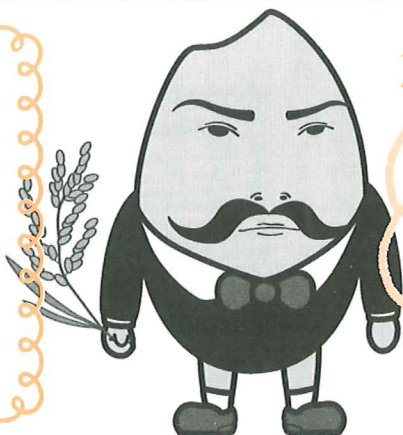
公式マスコット

キャラクター

ライ造くん

就任のあいさつ

「日本の
お米と
民主主義を守る
紳士」こと
ライ造くんです
皆さんよろしく

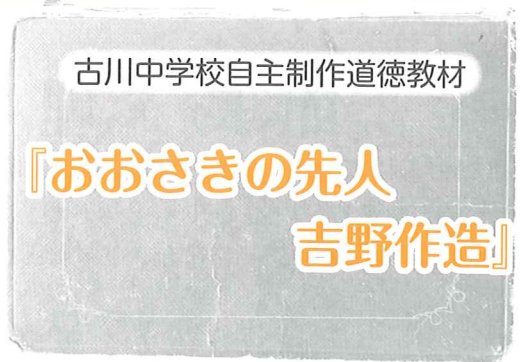


「考案・デザイン」

大崎市長古川中学校3年

福田 安優さん

元々は古川中学校の授業の中で考案されたキャラクターですが、当館のマスコットとして正式に採用させてもらうことになりました。



心に市教委と当館の三者による協力のもと、内容を大幅に充実させ、県内全域の小・中学校に配布しました。

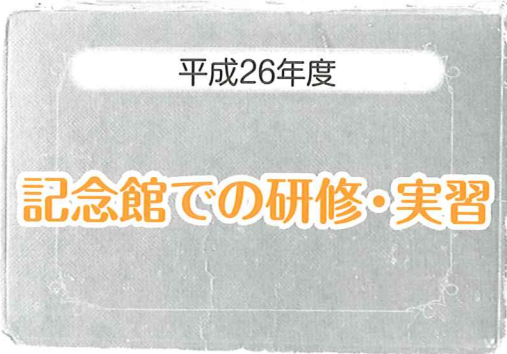
文章は古川中学校教諭の奥山輝子先生・鈴木陽大先生が、イラストは同校教諭（当時）の永井絵美先生が担当し、フルカラーで分かりやすく、読みやすい構成になっています。

大崎市立古川中学校のOJT（教員研修）の一環で行われた当館の講演会がきっかけとなり、同校の千葉繁美校長先生（当時）を中心とした先生方が、大崎市の先人である吉野作造の業績を、道德教育に活用すべく製作した自主製作教材です。当館は資料提供ならびに監修として全面的に協力させて頂きました。

平成二十五年十一月二十九日の古川中学校自主公開研究会にて、この教材を使用した授業が行われ、翌二十六年二月には、大崎市教育委員会による「大崎っ子はぐくみ事業」として、古川中学校を中



記念館 WEB サイトでもご覧頂けます <http://yoshinosakuzou.jp/senjin.htm>



大崎市による「平成二十六年震災被災者就職支援事業」の職場実習で、当館では佐藤美佳さんを実習生として受け入れました。

佐藤さんには二十六年十月八日から翌二十七年一月三十一日までの約四ヶ月間、受付



● 佐藤美佳さん
（職場実習）

宮城県古川黎明中学校の職場体験実習で、同校二年の今野翼君が当館で実習しました。

二十六年十一月十三日・十四日の二日間、記念館の仕事をしっかりと学んでくれました。

今野君は、博物館学芸員の仕事に就くのが夢だそうです。実習後、「将来仕事に就くための参考になりました」と、丁寧なお礼状もいただきました。将来の活躍が楽しみです。

（NPO法人古川学人「キッズ教育支援事業」）



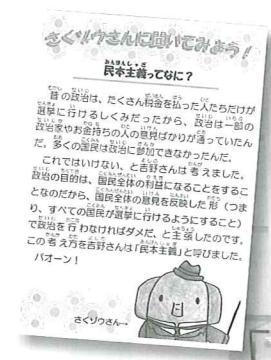
● 今野 翼くん
（古川黎明中職場体験実習）

や総務などを中心に、実際に業務に参加する形で実習してもらいました。豊富なアイデアと行動力で積極的に実習に取り組み、最後まで立派な記念館スタッフの一員として活躍してくれました。

二十六年年度の博物館実習（二十六年九月九日～十三日は、宮城学院女子大学三年の鈴木万優さんを受け入れました。

期間中は館業務実習に加え、特別課題として「子どもにも分かる常設展解説パネル」製作に取り組んでもらいました。

内容を選別し、分かりやすい文章で書くだけでなく、見やすく、目を引きつけるデザインを考えるー鈴木さんの試行錯誤の成果「さくゾウさん」に聞いてみよう！」は、常設展でご覧いただけます。



● 鈴木万優さん
（博物館実習）

昨年度企画展

吉野作造とキリスト教

平成二十六年五月二十五日～八月三日

- 共 催 ■
ライオン株式会社
- 後 援 ■
大崎市
大崎市教育委員会



から遠野で児童教育に尽くした晩年までその生涯を辿りました。また、東京帝国大学在学時に吉野が通った本郷教会で、教会草創期から海老名弾正を助けたキリスト者・小林富次郎（ライオン株式会社創業者）に注目し、健康や衛生などの生活文化の向上という考え方がキリスト教の博愛精神によって広まったことを紹介しました。

政治学者、社会事業家など様々な顔を持つ吉野作造がその根底に持っていたのは、キリスト教にもとづく博愛の精神でした。前期企画展「吉野作造とキリスト教」では、信仰の師となった尚綱学院初代校長アンネ・S・ブゼル、本郷教会の海老名弾正、また旧制第二高等学校や東京大学Y.M.C.A.での交友関係などを紹介しました。開催初日には東洋哲学研究所の氏家法雄氏による講演会が行われました。

本郷教会を通じた吉野と小林の縁にちなんで、本企画展の開催期間中、共催であるライオン株式会社から来場者に旅行用ハミガキセットが提供されました。



昨年度企画展

吉野作造と賀川豊彦

「貧しき者、弱き者のために」

平成二十六年十月十二日～十二月二十八日

- 共 催 ■
賀川豊彦
記念松沢資料館
- 後 援 ■
大崎市
大崎市教育委員会



に困窮する人々が自立した生活を取り戻せるような様々な社会事業を展開します。特に関東大震災の際は、二人は協力して救護活動に取り組み、人々の生活環境の再建のためにはたらきました。開催初日のオープニングシンポジウムでは、パネリストとして金井新二・賀川豊彦記念松沢資料館館長、大川真当館長、コメンテーターとして森田明彦・尚綱学院大学教授が登壇、今日の貧困問題や格差社会について歴史的、思想的な議論が行われました。

大正デモクラシーの旗手である吉野作造と、日本の生活協同組合の父として知られ、貧しい人々のために生涯を尽くしてノーベル平和賞の候補にも挙げられた賀川豊彦。後期企画展「吉野作造と賀川豊彦」では、日本のセツルメント活動の草分け的存在である二人を中心に、健康で文化的な市民生活を目指した大正時代の多様な社会事業を紹介し、今日の貧困や格差の問題を歴史的に考えました。

大正デモクラシーの時代は、資本主義が進んだことから抜け出したい貧困に追いやられる人が増加した時代でもありました。吉野と賀川は、経済的



昨年度企画展

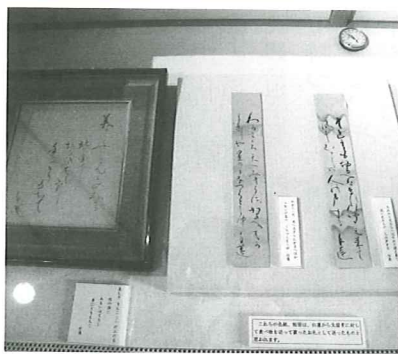
吉野作造記念館

開館二十周年記念展

平成二十六年七月十三日～二十七年三月三十一日

開館二十周年を前に、吉野作造記念館では前期・後期の企画展に加え「開館二十周年記念展」として各種展示を行いました。いずれも観覧無料での公開でした。

◆花子とアンと吉野作造



平成二十六年度上半期のNHK連続テレビ小説「花子とアン」。このドラマに吉野作造と関係の深い人々が登場していたことから、関係人物や大正デモクラシーのキリスト教文化を紹介するミニ企画展「花子とアンと吉野作造」を開催しました（七月十三日～九月三十日）。その後、秋田県在住の個人

の方から、宮崎龍介、柳原白蓮の直筆資料等を所蔵しているという情報を頂きました。

この資料をお借りし、展示を大幅にリニューアルして開催したのが「宮崎龍介、柳原白蓮の手紙～花子とアンと吉野作造2～」(十一月十六日～三月三十一日)です。「花子とアン2」では、白蓮が歌を詠んだ色紙や短冊、龍介・白蓮が支援者に送った手紙、また吉野が教え子で新人会の一員だった龍介に宛てたハガキなど、これまで知られていなかった新史料を展示しました。白蓮の手紙は、戦中戦後の食糧難、世界連邦運動、晩年の緑内障による失明などについて流麗な筆致ながらも気取らない言葉づかいで、率直な気持ち

◆新収蔵史料展



八月十日からは「新収蔵史料展」を開催しました。これは平成二十五年から二十六年にかけて当館で収集した資料のうち、未公開のものを展示したもので、主な展示資料は「軽兆なる批議」ほか吉野作造自筆の原稿・書簡、吉野が結成に大きく関わった社会民衆党の機関紙『社会民衆新聞』第一号などです。

◆吉野作造記念館

二十周年の歩み

開館から現在まで二十年の歴史を振り返る展示です。これまでで開催されてきた懐かしい企画展のポスターが勢揃いしました。

◆パネル

「吉野作造と民主主義」

戦後まもなく発行された中学生向け社会科教科書『新しい憲法のはなし』の中から、日本国憲法と現代の民主主義に吉野作造の思想が与えた影響を読みとるパネルです。よりきれいで見やすい形にリニューアルしました。



その他の展示

大崎市・台東区
小学生交流絵画展

「あそびにきてね！
わたしのまち」

(二十六年十月三十日～十一月五日)

大崎市と東京都台東区の姉妹都市提携三十周年記念事業として、大崎市と台東区の小学生が、自分たちのまちを描いた絵画展が当館で開催されました。両市区の皆さんが、お互いの住むまちの景色、自然、文化、生活の様子などについて興味・関心を持ち、親善を深めることを目指し、大崎市・台東区共同で開催したものです。



平成26年度 吉野作造記念館講座

春 期

6月7日・14日・21日・28日(全4回)

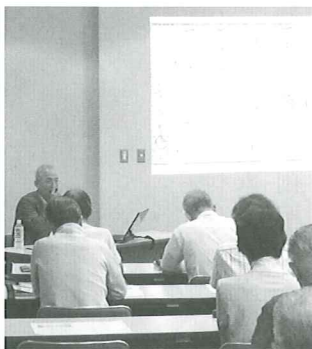
秋 期

11月3日・8日・15日・22日(全4回)

春期講座

歴史講座「伊達政宗」

講師 佐藤 憲一氏



近代以外の歴史講座という新たな試みで、仙台市博物館元館長の佐藤憲一氏を講師に招いての歴史講座を開講しました。第一回は慶長遣欧使節の目的と意義を「震災からの復興事業」としての側面から再検討し、第二回・三回では、政宗の自筆書簡を紐解き

ながら、政宗の人間像、母・義姫による政宗毒殺未遂、その後の政宗による弟・小次郎殺害の実相に迫りました。(宮城県「慶長遣欧使節出帆四〇〇年記念事業」協賛事業)

秋期講座

日本の民主主義と吉野作造

講師 大川 真館長



日本の戦前・戦後のそれぞれ代表的な民主主義思想家として吉野作造、丸山眞男の二人を取り上げ、彼らの著作を紐解きながら民主主義思想の深層を探る講座でした。

前半の第一回・第二回では丸山、後半の第三回・第四回では吉野に焦点を絞り、それぞれの民衆論・平和論などを丹念に検証しながら、日本の民主主義思想の流れをさかのぼりました。

その他講座・講演会

明るい選挙推進協会主催

地域コミュニケーションフォーラム (七月十五日)



吉野作造と

シティズンシップ

講師 大川 真館長

山形市で行われた、公益財団法人明るい選挙推進協会主催の地域コミュニケーションフォーラム(北海道東北ブロック)に、当館の大川真館長が講師として参加し「吉野作造とシティズンシップ」というテーマで講演を行いました。

フォーラム全体としては投票率の向上を目指した選挙啓発への取り組みが大きなテ

マでした。しかし本講演は、投票率そのものよりも、自身

第八回大崎市民生委員児童委員大会

(八月二十二日)



現代の社会福祉問題と

吉野作造

講師 大川 真館長

大崎市内のパレットおおさきで行われた第八回大崎市民生委員児童委員大会において、大川館長が記念講演を行いました。内容は、コミュニ

が主体的に社会活動に加わろうとする意識の低下こそが問題だとし、吉野が若年層への政治教育の重要性を説き続けた例などを紹介しながら、「制度としての民主主義を支える精神」シティズンシップ」教育の重要性を強く主張するものでした。

ティの希薄化や相対的貧困率の上昇といった日本の現状をデータによって示しながら、今後の民生委員・児童委員の課題を提起するものでした。日本における民生委員について、同じく地域社会の生活向上に従事する職業は世界各地にある中、日本のそれは無償のボランティアを前提としている点で極めて特殊であると指摘しました。

最後に、生活の量的な発展より質的な発展を追い求めた大正デモクラシー時代に民生委員の原点があるとし、自主性と奉仕の精神が根底にある民生委員に代表される、参加型民主主義による質的な「成熟社会」を日本は目指すべきだと結びました。

原武史氏 講演会

(平成二十六年十月十九日)



いった視点から分かりやすくお話し頂きました。

講演会終了後には、記念館に隣接する祥雲閣の茶室で、清泉幽茗流宮城支部による文人茶席が開かれ、現家元の古川純佳氏が自ら来場者を迎えました。

(NPO法人古川学人事業)

第十五回

読売・吉野作造賞受賞者講演会

(平成二十六年十一月一日)

読売・吉野作造賞は、読売新聞社と中央公論新社が平成十二年(二〇〇〇)に創設し



た学術賞です。第十五回となった今回の受賞者は、遠藤乾氏(北海道大学教授)の著書『統合の終焉 EUの実像と論理』(岩波書店)でした。

吉野作造記念館では毎年の読売・吉野作造賞受賞者をお招きして講演会を開催して

います。今年の講演は「国際関係の平和的変革は可能か—吉野作造に学ぶ—」と題し、受賞者のテーマであるEU、また吉野作造を通して、国境を越えた相互理解や対話の必要性についてお話を頂きました。

第八回

吉野ネットワーク人材育成研修会

(平成二十六年九月五日〜七日)

吉野作造を通じた全国的な人的ネットワークの構築を目指し、読売・吉野作造賞受賞者の先生を中心に始まった人材育成研修会は今年で第八回。

毎年多くの講師と学生の皆さんにご参加いただいています。

今年は、青山学院大学、駒澤大学、慶應義塾大学、京都大学、東北大学、古川高校から集まった二十名の学生が参加しました。

今年「近代日本の政治とリーダーシップ」という全体テーマで、近代における政治指導者の役割について考察する内容でした。初日には、戸部良一・帝京大学教授による基調講演「近代日本の政治指導者」が一般公開で行われました。

場所を中新田交流センターに移した二日目には、手嶋泰伸・福井工業高等専門学校助教による「吉野作造の政治論とリーダーシップ」、阿川尚之・慶應義塾大学教授による「リーダーは歴史をどう語るべきか—南方戦争終結一五〇

年、太平洋戦争七〇年」の二つの講義が行われました。

吉野作造記念館に戻った最終三日目には、成果報告会として講師陣による一般公開のトークセッションが行われました。各講演・講義は、『吉野作造研究』第十一号に掲載予定です。



吉野作造記念館 館長 大川 真一
帝京大学 文学部教授 戸部良一氏
青山学院大学 大学院特任教授 猪木武徳氏

見学会・出前講座の感想

今年度はNPO法人古川学人の「小・中学校見学無料招待事業」として、県内の全小・中学校の見学を無料としました。授業のねらいに合わせ、古写真や各学校の歴史などを盛り込んだスライドでの解説など、分かりやすさと楽しさを重視した内容を毎回用意しています。

古川中学校 開校記念講話

(平成二十六年四月十八日)

古中の先輩吉野作造

からのメッセージ

講師 大川 真館長

今年度の記念講話は、吉野の事績や政治制度を詳しく解説するよりも、現代における具体的な問題（貧困・言論弾圧など）をキーワードとし、



吉野が生涯をかけてその実現に取り組んだ「民主主義」の大切さについて考えてもらうという点に主眼をおいた内容でした。

講話を聞いて

◎ 民主主義ではない国では、栄養失調などが起こりやすいことが分かりました。自由にできる国ではないから少壮年兵とも出てきて足を失ったりしているのはかわいそうだと思います。そんな中、吉野さんは、言葉や文を使って主義のあり方みたいなものを変えることができるの、すごいと思います。また、言葉の力はとても大きいんだなと感じました。

(三年 早坂帆香さん)

古川中学校 総合的な学習の時間学習③ 「地域の人たちの話を聞く」

(平成二十六年十月二日)



古川中学校三年生の総合的な学習「まちづくり学習」の一環として行われた特別授業「地域の人たちの話を聞く」に、当館の大川館長も講師として参加しました。

この授業は、大崎市内で様々な仕事に取り組む人たちの話を聞きながら、大崎市中心市街地の現状（長所や課題）を知り、自分たちで深めたい、解決したいまちづくりテーマを考えると、この内容を

す。生徒さんたちはグループに分かれ、各講師の話を聞きました。

大川館長は「政治」をテーマに講話を行いました。まちづくりに大切なことは話し合うことだとしつつ、「一つの答えを出さなければならぬ時に全員の意見を反映させることは難しい。それでも一人ひとりの意見を聞き結論を出すことが大切である」と生徒の皆さんに語りかけました。

この「まちづくり学習」の取り組みの様子は、十月二十五日の古川中学校文化祭でも発表されました。

お話を聞いて

● 話を聞いて、古川でたまたま通る道でも知らないことがたくさんあることが分かり

自分の意見を述べることは大事なんだと思いました。意見をはっきり言えば何かが変わると、いう事を知りました。吉野作造のような自分の意見をしっかりと持った人になりたいと思いました。今回

(三年 小川千聖さん)

ました。また、地域の関わりがなくなってきた中、地域に求められている事が高くなっていることが分かりました。

私たちに期待されていることは、現実性を考えて難しく考えるのではなく、単純に希望などで良いことも分かりました。

古川のまちづくりのために多くの人がボランティアで街を活性化させようとしていることが分かりました。

その人たちが、古川の未来を担う子供たちに期待をしているから、その期待にこたえられたらいいと思います。

昔からまちづくりへの地域の課題が多くて、今でも少ないわけではないことに気づき、今の私達、若者が大崎市の街を、活性化させなければいけないし、誰かに頼むのではなく、自分たちの手で、自分達の考えでまちづくりをしていかなければならないんだなと思いました。

古川のまちづくりについて、たずさわっている人がたくさんいることにびっくりしました。地域のかかわりで、いろんなまちの活性化につながるんだなあと感じました。

まずは、行動を起こすことが大事だと知りました。



古川第一小学校見学会

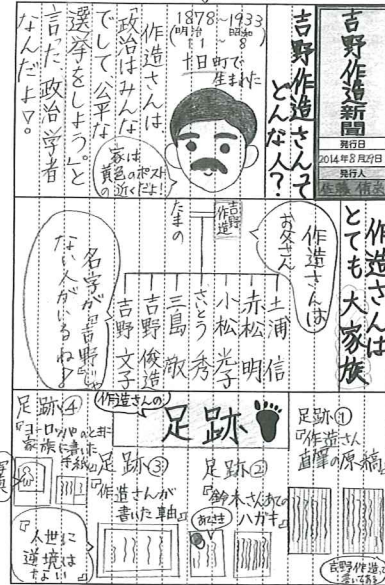
平成26年 8月29日

古川第一小学校の5年生の皆さんが来館してくれました。

吉野作造の直接の後輩にあたる一小の皆さんは、大先輩である吉野作造の業績や、吉野が学んでいた当時の一小について興味津々の様子でした。毎年古川第一小学校では、当館見学会の後、生徒の皆さんがそれぞれに調べたことを発表する『吉野作造新聞』をつくってくれています。今年も多くの力作を頂戴しましたので、一部をご紹介させていただきます。この他、記念館学習ルームでも公開しています。ぜひご覧下さい。

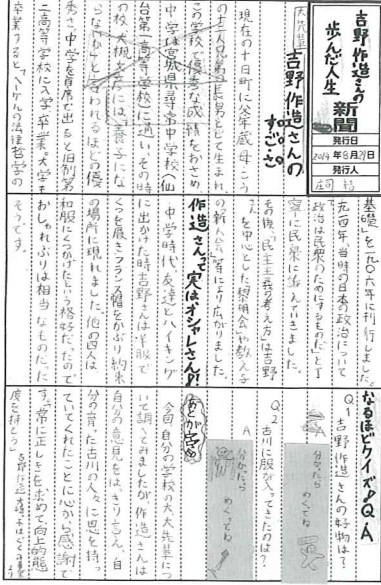
五年 佐藤 侑来さん

可愛いイラストで、展示資料を紹介してくれました。



五年 庄司 結さん

吉野の功績をしつかりまとめただけでなく、めくって分かるクイズ付き。発想の勝利ですね。



清滝小学校見学会

平成26年11月5日

大崎市立清滝小学校6年生の皆さんと、大崎市立敷玉小学校6年生の皆さんは、見学の後に丁寧なお礼のお手紙を書いてくれました。一部を紹介します。

ぼくは吉野作造についてあまり知りませんでした。ですが吉野作造記念館に行つてすごい人だと知りました。一番心に残つたのは、吉野作造が書いた手紙です。ぼくには、字はあまり読めませんが、でも、ヨーロッパに行つてもちゃんと家族あてに手紙を書いてすごいいました。

(六年 今野成紀くん)

一番心に残つたのは、吉野作造が書いた手紙のことです。昔の字はつなげ字で読み取りにくかったけど、なぜ昔の人たちはつなげ字を書くのかなあと思ひました。

(六年 中田遥香さん)

今まで吉野作造さんが何をしていたのかが、あまり分かりませんでした。お話を聞いて「すごいなあ」と思いました。それから、大崎で生まれたこともびっくりしました。私は、もっと吉野作造さんについて調べてみて、新しいことを知りたいです。

ちなみに「つなげ字」は、草書体といって正しい字の書き方の一つです。昔の人は普通に読めないので、それに筆書きがずっと早く書けるんですよ。



敷玉小学校見学会

平成26年12月3日

「吉野作造」という名前
は、ちらっと聞いたことは
ありますが、何をした人な
のかは知らなかったのだと
ても勉強になりました。吉
野作造は、大正デモクラ
シーのリーダーとして選挙
を公平にする、貧しい産婦
の保護、関東大震災の支援
など、国民の役に立つ様々
な活動をしてきた人だとい
うことが分かりました。ま
た、仙台の一高出身で東京
大学の教師だったというこ
とで、私も将来小学校の教
師になりたいので吉野作造
のように人の役に立つこと
をしたいです。

(六年 皆川葉月さん)

私は今日初めて吉野作造
記念館を見学しました。そ

して、今日吉野作造がこん
なにも日本の政治に貢献し
ている人だということが分
かりました。また、古川の
人でこんなにも有名な人が
いたんだなあと思いました
た。見学して色々なことが
わかりました。また、今日
は敷玉小学校のことも詳し
く知れました。私は昔、敷
玉小学校が「石森小学校」
だったということは知って
いたけれど、敷玉村があっ
たことや敷玉国民学校とい
う学校名だったことは、初
めて聞きました。今日は、
本当に吉野作造のことや敷
玉小学校のことを詳しく知
れてよかったです。

(六年 伊藤聖菜さん)

私が一番おどろいたのは、
作造の母がすごい教育熱心
だったことです。きびしすぎ
て(作造はどう考えていた
のかなあ)と思ってしまうま
した。また、展示室を見た
時、すごく難しい字が多か
ったので読めませんでした。
吉野作造の関係した人や、
字、考え方を知れて本当に
よかったです。次はもっとく
わしく知りたいです。

(六年 千葉 月さん)

宮崎中学校見学会

平成26年12月12日



宮崎中学校三年生の皆
さんには、ミニ講演や見
学を元に、吉野作造と民
主主義について考えても
らうワークシートに取り
組んでもらいました。未
来を担う若者たちは、記
念館での学習を通じてど
のようなことを考えたの
でしょうか。

Q1 吉野作造さんが目指し
た「自由で平等な選挙」って
どうなのかな？

●男、女、貧富の差関係なく、
国民全員が選挙すること。
(小林勇斗くん)
●政治に対して意見を持つてい
るすべての国民が税金を納め

た量や性別にとらわれず、
自分達の国の将来を決める
ことができる選挙のこと。
(猪股海沙さん)
●投票するかどうかを選択す
ることができると選挙。一人
一票で一票の価値が平等な
選挙。
(千葉綾香さん)

Q2 なんで自由で平等な選
挙でないか、民主主義が実現
できないのかな？

●国民の考えを知ることがで
きないから。(今野貴章くん)
●偉い人ばかりが支配する国
になってしまっているから。
(板垣梨香さん)

●政党や政治家たちが自分た
ちに都合のいいように政治
をして、国民をないがしろ
にしてしまう危険性がある
から。(高橋摩莉那さん)

●政治は、国民の利益や幸福
のために行われるというの
が民主主義。国民の利益や
幸福というのは国民しか分
からないので、そのために
自由で平等な選挙でないとな
らないから。
(古内沙奈さん)

Q3 浪人会との討論会など、
どうして吉野さんは危険を顧
みず「言論への暴力」を厳しく
批判したんだろう？

●暴力のない世界をつくりた
かったから。(大場翔くん)
●暴力では何も解決しないか
ら。表現行為を抑えこもう
とすることはいけないこと
だから。(板垣梨香さん)
●民主主義を広めるため、自
由な言論を守ろうとしたか
ら。(庄司真洸さん)

●言論の暴力は人権を害する
もので、主張することがと
ても大切なものだった
えるため。(高橋摩莉那さん)
●国の政治を変えたいとい
う気持ちがあったから。
(金澤沙彩さん)

●自分が正しい考えを持って
いると信じていたので、討
論すれば人々が分かってく
れると思っていたからだと思
います。(古内沙奈さん)
●何があっても暴力は絶対に
だめだし、力でしか封じよ
うとできない(しない)心
の弱さに吉野さんは気づい
たから、厳しく批判したの
だと思いました。
(山本真美さん)

ちなみに二十七年宮
城県立高校入試に吉野作
造の問題が出題されまし
た。記念館は受験生を心
援しています！

NPO法人 古川学人 NPO事業報告

平成26年度 NPO 法人古川学人の事業一覧 (平成27年3月上旬まで)

- 吉野作造記念館指定管理者事業
- 東日本大震災復興支援 原武史氏講演会
「百年前の日本—吉野作造を取り巻く時代背景」
.....10月19日
- 開館20周年記念事業
 - ・20周年記念式典企画・製作
(記念冊子「20年のあゆみ」製作、記念コンサート)
 - ・20周年記念企画展、全館観覧無料キャンペーン
- キッズ教育支援事業(小・中学生および先生対象の教育支援)
 - ・古川中学校教育研修.....7月24日
 - ・夏休み自由研究サポートし隊！.....7月29日～8月1日
 - ・古川第二小学校教員研修.....8月20日
 - ・古川中学校キャリアポスターセッション講座 (1年生対象)
.....10月9日
 - ・古川中学校キャリアポスターセッション講座 (2年生対象)
.....1月28日
 - ・古川黎明中学校職場体験実習.....11月13日・14日
- 芸術文化振興事業
 - ・わっくわく教室「かぼちゃを作ろう」.....9月14日
- ヤングジャパン応援事業 (高校・大学生対象の教育支援)
 - ・古高学会の応援
 - ・キリン福祉財団による古高学会への助成金授与式 7月26日
 - ・東北大学見学会.....7月12日
 - ・2014年度関東学院大学東日本大震災復興支援ボランティアプロジェクト見学会.....8月1日
 - ・東北学院大学見学.....10月26日
 - ・京都大学後藤浩之助教ほか5名見学.....12月17日
 - ・尚綱学院大学子ども学科見学.....1月10日
 - ・古川学園高校見学.....3月11日
- シティズンシップ普及事業
 - ・選挙+ plus (市民団体) への協力事業応援企画「選挙に行こう！」
 - ・明るい選挙推進協会主催地域コミュニティフォーラム (北海道東北ブロック) 講演7月15日
 - ・第8回大崎市民生委員児童委員大会記念講演.....8月22日
- 健康増進事業
 - ・NPO 法人ハッピーート大崎との健康増進事業共催
- 震災復興支援事業
 - ・石巻・川の上プロジェクトへの支援活動
 - ・「耕人塾」と「百俵館」へ参加5月31日
 - ・「石巻の魅力を発信していく映像コンテスト」および「中島信也氏講演会」へ参加8月24日
 - ・イシノマキ・カワノカミ大学主催講演会.....11月29日
 - ・第3回国連防災世界会議パブリック・フォーラム.....3月15日
- 東アジア交流事業
 - ・国士舘大学アジア・日本研究センター
プロジェクト研究会講演会.....4月11日
 - ・中国社会文化学会2014年度大会.....7月5日
 - ・国士舘大学アジア・日本研究センター
プロジェクト研究会講演会.....10月31日
 - ・天津日中交流シンポジウム
(サントリー文化財団助成事業).....12月20日
- 小・中学校見学無料招待事業
 - ・古川第一小学校見学会.....8月29日
 - ・清滝小学校見学会.....11月5日
 - ・敷玉小学校見学会.....12月3日
 - ・宮崎中学校見学会.....12月12日

NPO 法人古川学人では、大崎市からの委託業務である吉野作造記念館の管理・運営にとどまらず、「記念館を活用した地域の振興」「吉野作造の精神を受け継ぐ若者の育成」をテーマに、幅広い取り組みを行っています。

館の管理運営の枠を越えたこれらの事業は、多くの皆様の善意とご理解に基づく寄附金によって支えられています。ここに寄附者の皆様に深く感謝の意を表すとともに、平成二十六年年度のNPO事業をご紹介します。

平成二十五年までの主なNPO事業

○震災復興支援事業
●シンポジウム
「建築・文化を再生するということ—旧有備館の修復を中心に—」
(平成23年度)

○大崎の「宝」II「人」プロジェクト
(平成24年度)

○東アジア交流事業

●日中文化交流シンポジウム
「吉野作造と近代中国」
(平成25年度)

ご寄付頂いた皆様のご紹介

平成二十六年三月十三日
平成二十七年三月十五日
公表のご了承を頂いた方のみ
ご紹介させていただきます。
(受付順)

佐藤 幸也様	千葉 眞也様	和泉 敬子様	二郷 成子様	万城 牧子様	大川 真子様	岡田 永治様	宮崎 継雄様	松本 三之介様	後藤 昇子様	岩田 利昇様	平石 直昭様	菅原 裕子様	吉村 敏之様	井関 敏子様	千葉 繁美様	橋本 繁章様
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

氏名非公表希望
十一名様

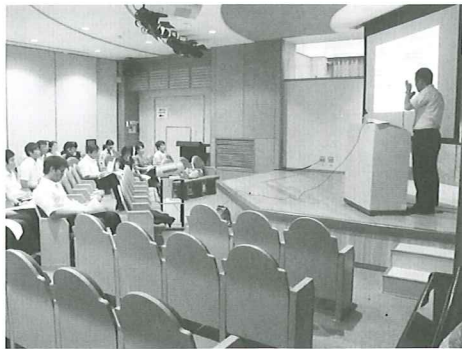
合計 六二一、〇〇〇円

キッズ教育支援事業

■当館を活用した小・中学生の学習サポート事業
■吉野作造に関する教材・授業作りのサポート事業

古川中学校教員研修

(平成二十六年七月二十四日)



と責任を自覚させる教育を行うことの重要性が、現在、シティズンシップ教育という形で世界的に認識され、広がりにつつあることを解説しました。地域社会への積極的参加とその責任を学ぶことが狙いであるシティズンシップ教育には、ぜひとも吉野を取り入れるべきと提案しました。

講義

古中から第二の

吉野作造を

館長 大川 真

吉野作造についてのよう
に教えるか、また吉野をキ
ワードにした授業をどう組み
立てるかを考える研修会です。
講義のテーマは、吉野作造
が主張し続けた、子供の内か
ら各個人の政治参加への関心

●大川先生のお話を聞くのは、今回で三回目です。「非民主主義国では飢餓や戦争が絶えない」ことの説明等、客観的なデータ、背景等に裏打ちされた説得力のあるお話であるというところを、毎回感じています。今回は、多くの方の考えや言葉を引用して、筋道立てて説明していただき、参加型民主主義の必要性を感じ取ることができました。「汗かく気がないなら口出すな」「これ

して！あれして!!という依存的な大人の隣で、自立的な市民は育つか?」「少年は必要とされて大人になる」等が印象に残りました。

今回、学んだことを私自身が実践しつつ、「関わり合っ
て学ぶ場」をつくり、主張で
はなく提案をしていける力を
生徒に身につけさせたいと思
いました。(山口英雄先生)

ともすれば我々は、教育に携
わる者としての本質的な使命
を見失いがちかもしれない。
我々教職員の日常的な営みは
すべて「公的資源をもった自
立的な人間の育成」に帰着す
るはずである。自己実現に向
かう姿勢が社会貢献に資する
こと、また、社会貢献に向か
う姿勢が自己実現に資するこ
と。これはまさに、本校が目
指す生徒の姿そのものである。

古川第二小学校教員研修

(平成二十六年八月二十日)



「皆のために頑張る」活動を
する生徒をきちんと評価して
いく意識を育てることが重要
性を論じました。

講義

志教育に吉野作造を

館長 大川 真

本講義では、シティズン
シップ教育の重要性を強調し
た上で、小学校教育における
前段階として、生徒会など

◎「志教育に吉野作造を」の
テーマで、研修を受けさせて
頂きました。研修を通して、
吉野作造の人生、生き方、信
念を学び感じ取ることができ
ました。吉野作造は古川に生
まれた有名な先人であり、古
川に住む子供たちには、ぜひ
学んでおいてほしいものだ
の思いを強くしました。小学
生の子供たちが学ぶには、内
容の難しさから、様々課題も
ありそうですが、関心を持って

「依存的な大人の隣で自立的
な若い市民は育つのか?」と
いう大川先生の問いは、我々
に大きな示唆を与えてくれる。
「古中から第二の吉野作造を」
という演題は決して大仰では
ない。誇りと気概をもってい
きたいと思う。

ご講話くださった大川真先
生、吉野作造記念館の皆様
心より感謝申し上げます。
(阿部豊彦先生)

るような方法を考えたいと思
いました。
(千葉寛巳先生)

◎職員研修として、館長様
にお話を伺い、展示物をじっく
り拝見する機会を頂きました。
吉野作造の思想の根本は、
自分が何をできるかを考えて
貢献する市民を育てること。
学校教育に携わる我々も、未
来を担う子供たちが、公民の
一員として自分で判断して行
動できる人間に育てる責務が
あると感じました。

大崎の先人である吉野作造
を知識として覚えるだけでは
なく、その志を子供たちと共
に受け止め、感銘し、自分の
生き方を考えていきたいと思
います。ありがとうございます。
(式地央江先生)

古川中学校 キャリアポスターセッション

一年生 平成二十六年十月九日
二年生 平成二十七年一月二十八日



講座の中で印象に残った言葉を記録し、感想を書きました。その一部を紹介します。

○ポスターセッションの中で、あなたが一番印象に残っている言葉は？

「お金をもらうから仕事じゃない」：お金をもらうために仕事をするだけではなく、ボランティアとしてやる仕事や、人に頼まれてする仕事もある。

古川中学校では、様々な職業の人の話を聞くキャリア形成のための特別授業・キャリアポスターセッションを行っています。当館大川館長は「学者・研究者」部門で《学者・研究者はどんなことをするか？》というテーマの講座を行いました。

福澤諭吉や吉野作造を例に挙げながら、考えが相違していても耳を傾け、尊重することや、世の中の大事な物事を問いつけていくことが学者には重要ということなどを生徒たちに語りかけました。

聴講した生徒の皆さんは、

「何を夢中にやっている人は学者向き」：夢中になるのは別に何でもいいそうです。とにかく自分の好きなものを、夢中になってやる人が好きだそう。学者は好きなことを嫌になれないで大人になっても好きでいづけることが大切だそうです。(二年四組 浅野楓さん)

「はじめをなくすために学者になつたんだ」：小学生のころに友達がいじめられて、それを助け、止めることができなくてそれをなくすにはどうすればいいか、どんな心境なのか、それを知るために、努力をして、学者の職業になったそうです。(二年二組 内田凜さん)

○お話を聞いて、これからの生活や将来にどう生かしていこうと考えましたか？

・学者になろうと思わなくても、普段から身近なことでもいいから、自分の意見をしっかり持って、それを周りの人にしっかり語ることも大事なんだなと思いました。また、いろんなことに興味を持つのは良いことだから、どんどんたくさん触れて知りつくして、将来の自分に生かしたいと思います。(二年三組 相澤舞香さん)

「何を夢中にやっている人は学者向き」：夢中になるのは別に何でもいいそうです。とにかく自分の好きなものを、夢中になってやる人が好きだそう。学者は好きなことを嫌になれないで大人になっても好きでいづけることが大切だそうです。(二年四組 浅野楓さん)

(二年三組 山上夏鈴さん)

平成26年7月26日～8月1日 夏休み自由研究 サポートし隊！



記念館職員が小学生の自由研究をサポートする特別企画。今回は3人が参加してくれました。

「大崎市の歴史」

古川第三小学校五年 熊谷朋也くん

ふるさと大崎市、この地域はかつてどのような人々が治めていたのかを調べました。



「古川城の研究」

古川第一小学校六年 平塚大貴くん

第一小の敷地に昔あった古川城について、成り立ちから現在まで詳しく調べました。

「吉野作造さんについて」
古川第三小学校五年 菅原将永くん
吉野作造がとなえた「民主主義」。難しい理論を大変分かりやすく、しっかり調べました。

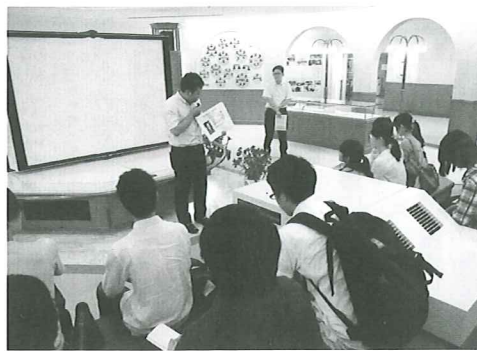


ヤングジヤパン応援事業

■ 高校・大学生の当館活用へのサポート
■ 志を持った若者たちへの支援

東北大学見学会

(平成二十六年七月十四日)



孫文や袁世凱の息子に会ったと教えてもらった時に、中国の近代革命と大正デモクラシーは同じ時期にあったことに気づかされました。そして、激動するアジアの歴史の中で、天皇中心を掲げ軍国主義に進む日本と共産主義へと進んでいく中国の歴史が交わっていることに歴史の面白さを感じました。

(文学部 花田杜綺さん)

齋藤智寛准教授による全学教育科目基礎ゼミ「いろいろな『論語』」の一環の見学会でした。皆さんそれぞれの関心に基づいて感想を寄せてくださいました。

吉野作造記念館を見学して、驚いたことがあります。それは、吉野作造が中国の革命家達と知り合っていたことです。

吉野作造記念館で一番印象に残ったのは実は吉野作造についてではなくて、山川均の民本主義に対する反対意見が掲示されていたところだ。山川は吉野が主権の所在の問題を棚上げにしている点で批判した。たしかに主権とは政治の最終決定権を持つものであるから、政治を語るうえで一番重要なのは主権であると私

も思った。そう考えると山川の指摘は非常に的確なのではないかと感じ、同時に私もこのような鋭い批判精神を育てていかなければならないと思った。(文学部 深澤和史さん)

今回の見学は、「政治学者として中国に関心を持ち続けていた吉野作造について学ぶ」という目的のもと吉野作

東北学院大学見学会

(平成二十六年十月二十六日)



東北学院大学経済学部の人見昌寺正一教授とゼミ生の皆さんによる見学会でした。

学外ゼミで吉野作造記念館を訪ねたが、これまで中学や高校で得た吉野作造に関する知識とはまた異なる新しい

造記念館へ伺った。

見学時間は小一時間ほどだったが、キリスト教の教えや孔子の「仁」の考え方を胸に、大正の日本を人々のために変えていこうと試行錯誤した吉野作造について、彼が考えていたことや目指したものに触れることができた。

印象的だったのは、彼が当時の人々の思考を日常生活や

発見が多くあった。吉野作造

といえば、やはり大正デモクラシーが真っ先に浮かび上がる。近代化の始まる明治から昭和初期の時代は現在の国民主権ではなく天皇主権の国家であったが、そのような環境の中でも国民の意見を反映できる国家にしようとする考え方や行動力の軌跡が数多く展示されており、非常に印象深かった。また民本主義の主張と同時に社会的弱者の救済の実現に向けた取り組みや近代における本格的な社会事業の萌芽の先駆けとなった経歴があることも新発見であった。吉野作造の主張がなければ現代までのインフラ整備や民主

風習を変えることにより改めようとしていた点だ。

当時珍しかった西洋風のアパートを建設した例は生活様式による身分の違いをなくしようとした熱意の現れではないだろうか。

現代の政治の源流を知り、政治参加について考える機会になった。

(文学部 照井佳那子さん)

主義は成り立たないと言っても過言ではないと感じた。

(山口秀さん)

吉野は、キリスト教の人道主義の立場から、弱いものたちがもの言えぬ世の中を大きく変えようと努力しました。吉野が打ち出した思想や精神は、決して古くさいものではなく、現在の時代にも大きく生かされるものであると思います。自分に目を向けてみますと、今できることは非常に限られています。それでも世の中の弱者に手を差し出すことくらいはできると思います。自分のできるどころから足を踏み出してみよう！このようなことを思った次第です。

(佐々木恭平さん)

関東学院大学見学会

(平成二十六年八月一日・二十九日)

関東学院大学東日本大震災復興支援ボランティアプロジェクトの方々の見学会でした。講義では大川館長が、吉野作造や後藤新平らの東北人が関わった関東大震災復興の歴史を紹介しました。

(感想)

現代ではあまり見られな

尚綱学院大学見学会

(平成二十七年一月十日)

尚綱学院大学の授業「基盤演習Ⅱ」での見学です。尚綱学院の創立者アンネ・ブゼル先生が吉野作造に与えた影響について学んでもらう内容でした。講義では、母性の保護・子供の保護といった現代的な問題に、吉野が大正時代から深く関わっていたことを紹介しました。

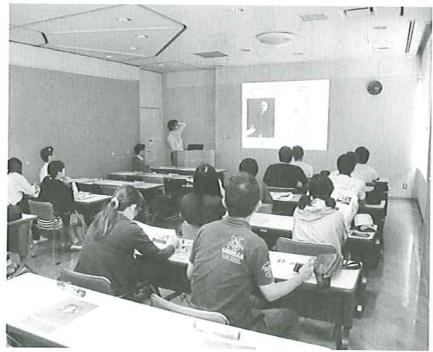
吉野作造は、キリスト教信仰を土台とした考えで大正デモクラシーを起こしたのだと考えた。日本の政治の重大な出来事に、私の学が尚綱の初代校長のブゼル先生の言葉が

い、後世に残るような活動をしている人が多いと思います。法学部なので、「借家人の焼跡」の話の中で出てきた「借地借家臨時処理法」の立法化、という話に興味を持ちました。現在勉強している借地借家法と照らし合わせて考え、勉強していきたいと思いました。また、関東学院大学

生きていると知り、驚き、感動しました。キリスト教の愛や平等という考えが吉野を動かしたのだと思った。大正デモクラシーは、すべての人が政治に平等に参加できるように起こされた運動であると感じ、吉野のキリスト教信仰が見えた。(伊藤香菜子さん)

ブゼル先生の影響でキリスト教に出会い、当時の日本の政治のあり方を唱え続けた吉野はすばらしいと思う。また言論の自由を擁護して浪人会の暴行事件を非難し、聴衆の支持を得るなど、今の日本は

と、バプテストを通じた関わりがあり、驚きました。



こうあるべきと現に必要としていることを主張し日本を変えることを熱心にやってきた人であろう。キリスト教はここまで人を動かす何かがあるのだと思う。それをこれから私は学んでいくようにしていきたい。(工藤紅音さん)



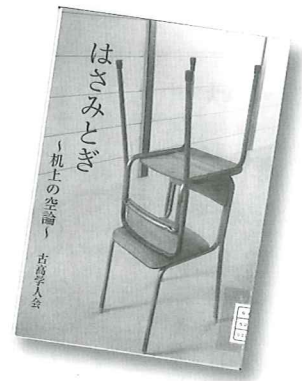
古高学人会 キリン福祉財団 助成金授与式

平成26年7月26日



古高学人会は、宮城県古川高等学校による当館の見学会において、吉野作造の精神に強い共感を感じた古高生が、平成二十五年に自主的に立ち上げた研究サークルです。

同会では会報『はさみとぎ』を発行しています。社会問題を中心とした、会員各自の自由で幅広い関心に基づく研究発表が掲載され



ます。

当館では、古高学人会の学生たちの応援を行ってきました。平成二十六年には彼らの活動が認められ、キリン福祉財団による助成が決定しました。そして七月二十六日、当館において表彰式が行われました。

吉野の精神を受け継いだ地域の若者たちの活躍が期待されます。



震災復興支援事業

- 石巻・川の上プロジェクトへの応援活動
- 講演・シンポジウムを通じた復興を考える活動

イシノマキ・カワノカミ大学講演会

(平成二十六年十二月二十九日)



東日本大震災で大きな被害を受けた石巻市旧河北町の川の上地域で、豊かな暮らしと地域のモデルをつくるためまちを耕し、ひとを育んでいくことを目的に活動している「石巻・川の上プロジェクト」。

NPO法人古川学人では、平成二十五年よりこのプロジェクトに協力しています。

同プロジェクトが主催する「イシノマキ・カワノカミ大学」は、幅広い分野から講師を招き、共にまちづくりのヒ

ントを探る市民大学事業です。当館の大川館長は、川の上百俵館で開かれた第七回の講師として「仙台藩の「教育」と「人づくり」というテーマで講演しました。内容は、江戸から明治・大正にかけて宮城県でどのように「人づくり」が行われたのか、というもので、近世中期以降の仙台藩での旧有備館、養賢堂での人材教育、仙台藩が輩出した先覚者・玉蟲左太夫、斎藤竹堂、さらに明治三十年に設立された育英団体である養賢義会などを紹介しました。

参加した方々から、教育問題に関する質問、また意見が多く寄せられました。最後には「家や財産は津波で流されたが、家の歴史や先祖からの精神は必ず残ると信じて前向きなされた」という地域住民の方からの力強い挨拶がありました。

東アジア交流事業

- 日本と中国の研究者の対話と交流の場をつくる事業
- 吉野作造をキーワードに日中関係を考える講演活動

中国社会科学学会二〇一四年度大会

(平成二十六年七月五日)

東京大学東洋文化研究所で開催された中国社会科学学会二〇一四年度大会にて、大川真館長が「吉野作造と対華二十一ヶ条要求」と題し、研究発表を行いました。従来の研究では吉野が対華二十一ヶ条要求を第五号も含め認めたとする見解が多数でした。本発

表では吉野の論説を一九一四年十一月から一九一五年六月まで時系列に沿って検討し、吉野が一九一五年一月十八日初案ではなく、四月二十六日の修正案を高く評価し、なかでも青島還付と第五号一条の政治・経済・軍事顧問の設置を骨抜きにした成果を高く評

国士舘大学アジア・日本研究センタープロジェクト研究会

(平成二十六年四月十一日)

国士舘大学町田キャンパスにて開催された、国士舘大学アジア・日本研究センタープロジェクト研究会において、大川真館長が講演しました。

テーマは「日中友好の糸口を考える―吉野作造の事跡から―」というもので、吉野作造が日中交流に果たした足跡を紹介するとともに、硬直化

した現代の日中関係を打開する糸口をフロアー一体となつて考えるという内容でした。

参加者には中国からの留学生も多く、キャンパス内で異文化交流を促進しようとする際に、吉野の中国観には学ばべき事が多いという意見も出ました。

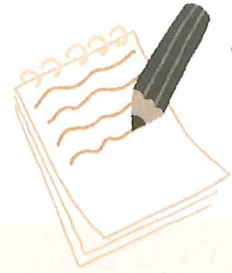


価している点に着目し、従来の見解に一石を投じる内容でした。

会場の中国学の専門家の方々からは、吉野が初案と修正案を分けて捉えていたことを初めて知ることができ、研究史上大きな成果であると評価する意見が寄せられました。



平成26年度 吉野作造記念館 アンケート集計結果のご紹介

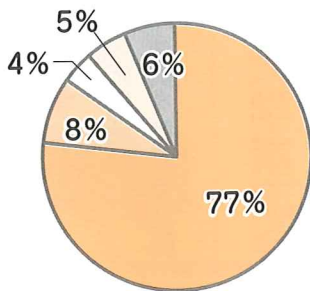


平成26年度に実施したアンケート内容の一部をご紹介します。
当館では今後も常時ご意見・ご感想を受け付けておりますので、お気軽に声をお寄せください。

※平成27年3月15日時点

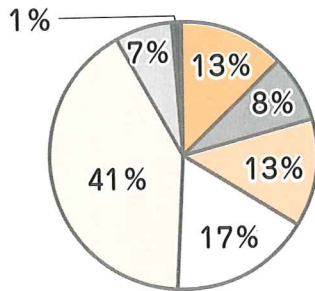
●集計数 166名 (内訳：企画展、講座、クリスマス会)

当館の情報を何でお知りになりましたか？



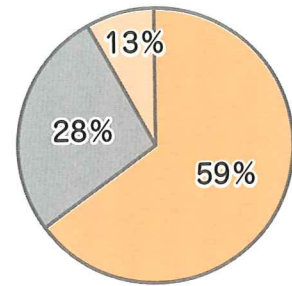
■ チラシ ■ 広報誌 □ 新聞
■ Web ■ その他

年齢を教えてください。



■ 10代以下 ■ 20~30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上
■ 無回答

お住まいはどちらですか？



■ 大崎市 ■ 県内(大崎市を除く)
■ 県外

ご意見・ご要望に対する改善など ※抜粋

見学やイベントに参加してみたのご感想

- はじめて来たが、子供が楽しそうに歌う姿が見られて良かった。(クリスマス会)
- 吉野先生のキリスト教精神に基づく、人間愛あふれる考え方に触れ感動しました。また来館したいです。(企画展)
- 子供の貧困が問題になっている現況に鑑み展示の中に社会を変えていくヒントがあったように思う。(企画展)
- キリスト教が吉野作造の平等思想、人間思想、人間尊重に大きな影響を与え当時の常識や固定概念にとらわれず、広く世界をみる事ができた。今の日本に必要な生き方、思想があると感じました。
- 初めて参加させていただきましたが、わかりやすくていねいなお話で興味深く聞かせていただきました。(講座)

お客様のご要望に対する改善について

- 吉野作造と賀川豊彦の志に感服した。賀川が東北の復興に力を尽くしたことも知り、勉強になった。「道徳教育」で活用されるよう学校へ宣伝を強化してはどうか。

改善 古川中学校の志教育に協力しています。また、学校単位の見学は無料招待しています。

- 県内外の青少年に一度は見学してもらいたい。駅から少し遠いのは難点。案内板などの標識も分かりやすいものを設置して欲しい。

改善 現状、高架橋沿いに看板を設置しています。また、事業ごとに電柱看板を設置し案内をしています。駅からの交通手段として、徒歩かタクシーでの移動が主となっております。今後、バスなどの公共交通機関の誘致を働きかけていく予定です。

昨年度のおもな記念館行事一覧

平成26年4月1日～平成27年3月31日

◎平成26年(2014)	1月5日～7月31日	第4回吉野作造研究賞論文募集	10月12日～12月28日	企画展「吉野作造と賀川豊彦一貧しき者、弱き者のために」	
	4月18日	古川中学校開校記念講演会(於古川中学校)	10月30日～11月5日	大崎市・台東区小学生絵画展「あそびにきてね！わたしのまち」	
	4月26日	わたしたちの新しい図書館を考えるワークショップ	11月1日	第15回読売・吉野作造賞受賞者遠藤乾氏講演会	
	5月5日	GW イベント (出演：遠藤真輝さん、古川高校合唱部の皆さん、ボランティア協力：宮城誠真短期大学の皆さん)	11月9日	吉野先生を記念する会主催講演会 大川 真「貧しき者・弱き者のために—吉野作造と賀川豊彦—」 (於カフェ・アバイン)	
	5月25日～8月3日	企画展「吉野作造とキリスト教」	11月3日・8日・15日・22日	吉野作造講座(秋期) 「日本の民主主義と吉野作造」全4回	
	6月7日・14日・21日・28日	吉野作造講座(春期) 「歴史講座『伊達政宗』」全4回	12月14日	クリスマス会 (ボランティア協力：宮城誠真短期大学の皆さん)	
	7月13日～平成27年3月31日	ミニ企画展「花子とアンと吉野作造」	◎平成27年(2015)	2月24日	宮城いきいき学園講演会 大川真「教育にかけた宮城の『復興』」 (於パレットおおさき)
	8月22日～24日	大崎市平和事業	3月3日	大崎倫理法人会モーニングセミナー講演会 大川真「仙台藩の人材育成」 (於芙蓉閣)	
	8月10日～平成27年3月31日	ミニ企画展「新収蔵史料展」	3月29日～4月26日	写真展「戦後70周年記念 岡本央が見てきた中国」	
	8月10日～平成27年3月31日	ミニ企画展「新収蔵史料展」			
9月5日～7日	第8回吉野ネットワーク人材育成研修会				
9月9日～13日	博物館実習				

※ NPO 法人古川学人事業・見学会などは除く

平成二十六年三月～平成二十七年二月 寄贈資料一覧

多くの方のご厚意により貴重な資料をご寄贈いただいております。厚く御礼申し上げます。「順不同」敬称略

- 「尚綱女学院短期大学所蔵フェル記念文庫目録」
- 守屋栄夫年譜……………尚綱女学院大学図書
- 濱井修・小寺聡ほか「現代の倫理」……………山川出版社
- 「別冊アステイオン」『災後』の文明……………山川出版
- ……サントリー文化財団アステイオン編集委員会
- 加山久夫・杉浦秀典(編)『満州基督教開拓と賀川豊彦—改訂版—』ほか4点……………戒能信生
- 関東学院大学バプテスト研究プロジェクト編「バプテストの教育と社会的貢献」ほか2点……………影山礼子
- 「柏木義援資料目録」ほか3点……………同志社大学人文科学研究所
- 「はさみとぎ」机上の空論……………古高学人会
- 「仙台市博物館の資料レスキュー」活動……………仙台市博物館
- 「東日本大震災後の取り組み」……………仙台市博物館
- 「雲の柱」28・DVD「死線を越えて」ほか4点……………賀川豊彦記念松沢資料館
- 「丸山眞男記念比較思想研究センター報告」第9号……………東京女子大学
- 「米沢市上杉博物館年報」……………米沢市上杉博物館
- 金山喜昭「指定管理者制度を導入した公立博物館はどのように変わったか」抜刷ほか4点……………金山喜昭
- 「三崎町にある我等の教会 日本キリスト教団三崎町教会年表」……………福吉圭子
- 「聖光遠野聖光幼稚園80年のあゆみ」……………遠野聖光幼稚園
- 「仙台ハリストス正教会開教百年記念新井奥達と仙台正教会」……………仙台ハリストス正教会
- 「仙台市歴史民俗資料館資料集第12冊収蔵資料目録(Ⅶ)」ほか2点……………仙台市歴史民俗資料館
- 「仙台市史 特別編9 地域誌」『仙台市史』年表・索引……………仙台市博物館
- 「私たちの道徳 中学校」……………文部科学省
- 「私権ブックス27 神奈川県会と武相の民権家」ほか2点……………町田市立自由民権資料館
- 「東北大学史料館紀要」第9号……………東北大学史料館
- 「日本歴史」第792号……………吉川弘文館
- 吉野作造編「最新科学」ほか6点……………柚井林二郎
- 「中津市歴史民俗資料館分館医科史料館叢書ⅩⅢ」……………中津市教育委員会
- 「the座」No.80こまつ座……………中津市教育委員会
- 「アルプス」2014年春……………アルプス電気株式会社
- 「仙台育英英五城寮記念誌」追録……………村木智彦
- 「たいろ画」『吉野作造』……………澤口康久
- 「翻刻『吉野作造』政治史」講義録ほか1点……………永澤汪恭
- 野村俊一(編)「テフオレスト館建造物調査報告書」……………大川 真
- 菊沢喜美子「思い出の父 栗原基」……………東京大学明治新聞雑誌文庫
- 「郷土たじり」第36号……………平野一郎
- 手嶋泰伸「海軍将校たちの太平洋戦争」『日本海軍と政治」……………手嶋泰伸
- 遠藤乾「統合の終焉E.Uの実像と論理」……………中央公論新社
- 「ライオン120年史」……………ライオン株式会社
- 井上ひさし「ドン松五郎の生活」ほか図書17冊……………角田耕一
- 村井良太「政党内閣制の展開と崩壊一九二七～三六年」……………村井良太
- 「東京帝国大学基督教青年会会報」ほか19点……………東京大学YMCA寮
- 「新渡戸稲造の世界」第23号……………芳賀清明
- 遠藤誠治・遠藤乾(編集代表)「シリーズ日本の安全保障1安全保障とは何か」……………遠藤 乾
- 「井上ひさし短編中編小説集成」……………井上ひさし事務所
- 鹿島台歴史研究会(編)「我が鹿島台が生んだ偉人 小野寺風谷—激動期日本の守りを固める—」……………鹿島台歴史研究会
- 芦東山かるた……………関市教育委員会
- DVD「くらしの中の選挙」……………明るい選挙推進協会
- 「2014年度東日本大震災復興支援ボランティアプロジェクト活動報告集」……………関東学院大学
- 武光真(文)・梅田紀代志(画)「江戸川乱歩とその時代」……………有限会社ハユマ
- 「宮城の歴史地理教育」第23号……………宮城県歴史教育者協議会
- 「南開日研五十年(1964～2014)」……………南開大学日本研究院
- 藤田逸男「家庭と購買組合」『宗教学講話』「宗教の哲学の基礎」……………渡邊 隆
- 「孫文研究」第55号……………武藤秀太郎
- 「常設展示図録」……………洪沢史料館
- 中元崇智「板垣退助岐阜遭難事件の伝説化」抜刷……………中元崇智
- 武井義和「孫文を支えた日本人山田良政・純三郎兄弟」……………純三郎兄弟
- 「愛知大学東亜同文書院大学記念センター」……………関聖帝君鎮座一五〇周年記念 関帝廟と横濱華僑
- 横濱中華街関帝廟……………横濱中華街関帝廟

平成26年
12月20日

天津で日中交流シンポジウム開催

近代中日間における知的・文化的共有基盤を再発見する国際シンポジウム

- ・ NPO 法人古川学人「東アジア交流事業」
- ・ サントリー文化財団 2014年度「人文科学、社会科学に関する学際的グループ研究助成」採択事業



吉野作造は、辛亥革命期の中国革命家と密接な交流を持ち、言論活動・教育活動など多方面にわたり彼らを支援し続けました。吉野作造記念館指定管理者・NPO法人古川学人では、「吉野作造と近代中国」をキーワードとして、日中両国の相互理解・文化交流を促進すべく、「東アジア交流事業」を開始しました。二〇一三年八月にはその最初の取り組みとして、日本・中国両国の研究者を招き「日中文化交流シンポジウム」を開催しました。今回は日中交流シンポジウムの第二回として、会場を中国・天津市にある南開大学に移しました。天津は、吉野が一九〇六〜一九〇九年にかけて、時の中国の権力者・袁世凱の子息の家庭教師を務めるため滞在し、吉野と中国の長い関わりの出発点となった地です。南開大学は、中国における日本研究の一大拠点であり、OBである中華人民共和国初代首相・周恩来は、日本留学中二回にわたり吉野を訪問した（実際には会えず）ことで知られています。

日本からは、当館の大川真館長、小嶋翔研究員のほか武藤秀太郎・新潟大学准教授、高橋亨・東北大学専門研究員が参加し、研究発表を行いました。発表者ならびにテーマは次の通りです。（敬称略）

- ・ 吉野作造滞滯在時期前後の天津—天津の街及び日本租界など—
郭連友（北京外国語大学）
- ・ 思想家としての吉野作造
趙曉靚（広東外語外貿大学）
- ・ 吉野作造と近代中国
武藤秀太郎（新潟大学）
- ・ 中国における大正国際協調主義の研究について
銭昕怡（中国人民大学）
- ・ 吉野作造の第一革命観
— 日本東洋史学者との交流を焦点として —
高橋亨（東北大学）
- ・ 吉野作造と対華二十一ヶ条要求
大川真（吉野作造記念館）
- ・ 吉野作造の国民革命観
王美平（天津大学）
- ・ 五・四運動、中国ナショナリズムと吉野作造
小嶋翔（吉野作造記念館）
- ・ 吉野作造の満蒙論
孫道鳳（天津理工大学）

吉野作造記念館

〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼1-2-3

TEL 0229-23-7100
E-mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp
URL http://www.yoshinosakuzou.jp

利用案内	開館時間	9時～17時(入館は16時30分まで)				
	入館料	区分	常設展	企画展(常設展含む)		
			個人	団体(20名以上)	個人	団体(20名以上)
		一般	310円	250円	500円	400円
		高校生	210円	160円	300円	200円
	小・中学生	100円	80円	200円	100円	
休館日	月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌日が休館日) 年末年始(12月29日～1月3日)					

若見自動車整備工場 宮城県大崎市古川江合本町2-4-1 電話 0229-22-1141	環境と健康の大切さを共に考える WAGATUMA.K.K 我妻建設(株) ふるしんは、地域に密着したコミュニティ・バンク ふるしん 古川信用組合 宮城県大崎市古川十日町7-8 電話 0229-22-1069	安心と満足を追求め! ガスは佐藤製薬! 大崎日設株式会社特約店 株式会社 佐藤酸素 大崎市古川字梓1丁目13-57 電話0229-24-0011	株式会社 北都開発 タイヤとホイールの専門店 有限会社 三塚タイヤ 大崎市古川休塚字目見田2-6-3	やればできる 内藤印刷有限会社
あなたに代わってお手伝い! ハウス・クリーニング ハウス・メンテナンス 0120-808-878 (受付時間) 大崎市古川休塚字目見田2-6-3 ペンリー宮城古川店	株式会社 美研 大崎市古川城西1丁目1-10 電話 0229-22-1816	株式会社 共同システムサービス	株式会社 共同システムサービス	
備丸サ工業	古川ガス 株式会社	総合建設業 有限会社 アクセス	書道教室 遊山社	